



平成29年度の主要な取組

◆企画政策課 田 (☎042-460-9800)

もっと健康 もっと元気に

◆地域医療福祉拠点の整備

URひばりが丘団地をモデル地域として介護予防教室などの取組を試行実施します。

◆がん検診の受診機会の拡充

受診機会を拡充するため、偶数年齢者を対象に実施していた乳がん検診・子宮頸がん検診について、前年度の未受診者を対象とするよう見直します。

◆骨髄移植ドナー支援制度の創設

骨髄などの提供者となった市民や提供者が勤務する事業所に奨励金を交付する、骨髄移植ドナー支援制度を創設します。

◆地域包括ケアシステムの構築

在宅療養連携支援センター「にしのわ」を充実させるとともに、東京大学高齢社会総合研究機構と連携協力し、都内自治体では初のフレイル予防事業を推進します。

◆障害者福祉の充実

泉小学校跡地に整備する障害者福祉施設の事業者選定に着手します。障害者の余暇活動の充実に向けて、夏季休業中の学校プールでの水泳事業を実施します。

◆オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成

児童・生徒や外国籍市民、障害者などが日本の文化に関心を高め、相互交流するイベント「日本の文化体験フェス」を実施します。オランダオリンピック委員会・スポーツ連合との連携事業を実施します。

◆リレーマラソンの継続開催

多摩六都リレーマラソンは、西東京市単独のイベントとして継続開催します。

◆保谷中学校グラウンドなどの地域開放

保谷中学校の校庭とテニスコートを地域開放するため、夜間照明設置に向けた実施設計を行います。

トを段階的に構築します。住宅施策を所管する都市整備部住宅課を設け、空き家の全棟調査を実施します。

◆ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりの推進

ひばりヶ丘駅北口の3・4・21号線を整備するとともに、平成29年度から2カ年をかけて駅北口のエレベーター・エスカレーターを整備します。また、北口での新たな自転車駐車場の整備に取り組みます。

◆田無駅南口駅前広場の整備

3・4・24号線、田無駅南口駅前広場の事業認可取得に向けて、土地鑑定や物件等調査を実施します。

◆都市計画道路などの整備

第3次みちづくり・まちづくりパートナー事業の対象路線となる3・4・11号線の事業説明会などに取り組みます。保谷駅北口の3・4・15号線の整備を進めるとともに、向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画関連の周辺道路整備にも継続して取り組みます。

◆良好な景観づくり(地区計画などの活用)

ひばりヶ丘駅北口地区の地区計画に継続して取り組むとともに、西武新宿線立体交差事業を推進するため、東伏見駅周辺のまちづくり構想を策定します。泉小学校跡地周辺でも、住環境などに配慮した地区計画の策定に取り組みます。

◆雨水溢水対策

新町五丁目など3カ所の雨水対策工事を実施します。

◆公園緑地の整備、みどりの更新

下保谷四丁目特別緑地保全地区の用地取得を完了するとともに、公園配置計画の策定に取り組みます。市立公園に植生する老木の計画的な更新に向けて、おおぞら公園の桜の老木について安全管理を行います。

◆ごみ減量、資源循環型社会の形成に向けた取組

剪定枝や生ごみの資源化事業の充実を図ります。

◆食品ロスの削減に向けた取組

環境学習などを活用した周知活動に取り組みます。

消の取組を推進し、都市と農業が共生するまちづくり事業の新たな展開を図ります。

◆地域コミュニティの推進

2つ目の地域となる、西部地域協力ネットワークの設立に向けて取り組みます。

次世代への責任をしっかりと果たそう

◆待機児童対策

新たに認可保育所2園、小規模保育事業所2園の開設計画に向けた準備を進めるなど、待機児童の解消に取り組みます。私立幼稚園の預かり保育の充実に向けた補助を実施するとともに、認可外保育施設保護者助成について、3年間の時限措置として現行の補助月額に8,000円を上乗せし、月額1万6,000円を支給します。

◆妊娠から子育てまで切れ目のない支援

母子保健コーディネーターを中心とした産前・産後ケア事業などの展開や、子育て支援ショートステイ事業や病児・病後児保育の充実を図ります。

◆子どもの居場所の確保

小学校を活用したサマー子ども教室事業、児童館を活用したランチタイム事業を継続します。学校施設開放事業での学習活動の機会の提供や、中学3年生を対象とした夏季休業日の民間講師による個別指導を実施します。

◆スクールソーシャルワーカーの活用の充実

子どもが生活の中で直面する学校内では解決しにくい困難に対する支援に向けて、スクールソーシャルワーカーの活用の充実を図ります。

◆特別支援教育の充実

市内全小学校に特別支援教室を試行開設します。明保中学校での通級指導学級の開設に向けた整備を実施するとともに、小・中学校の特別支援学級への介助員の配置を拡充します。私立幼稚園の特別支援教育を支援する補助制度を創設します。

◆学校施設の整備

(仮称)第10中学校の建設工事、中原小学校の実施設計に取り組みます。上向台小学校の大規模改修事業に着手し、田無小学校の校舎増築工事などを進めます。

◆特別教室への空調設備の設置

中学校の整備工事と小学校の実施設計を進めます。

◆若者のまちづくりへの参加

第2次総合計画後期基本計画の策定に合わせて(仮称)若者サミットを開催するとともに、中学生を対象にした夢・未来講演会を開催します。

◆地方公会計制度の導入

平成28年度決算から統一的な基準による期末一括仕訳の方式での導入を図ります。

◆市民窓口サービスの充実

マイナンバーの独自利用事務の拡充に努めます。

◆ふるさと納税制度

指定寄附金として扱うことで、より寄附者の意向に沿った制度とします。

災害に強い快適な都市インフラ整備を進めよう

◆危機管理体制の整備

田無庁舎と防災センターを結ぶテレビ会議システムや、被災者生活再建支援システムを導入します。

◆災害備蓄などの充実

市立小・中学校に非常用飲料水を配備し、緊急物資の充実を図ります。

◆防犯対策の充実

特殊詐欺被害を防止するため、自動通話録音機を高齢者などに配布するとともに、引き続き、小学校の通学路への防犯カメラの設置を進めます。

◆住宅などの耐震化に向けた取組

特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化や、木造一戸建て住宅・分譲マンションに対する耐震改修などへの助成に取り組むほか、新たに「緊急耐震重点区域」を定め、補助金を拡充するとともに、戸別訪問などの積極的な普及啓発を図ります。

◆住宅政策の充実

公営住宅長寿化計画を改定し、市営住宅の建替に向けた取組に着手するとともに、住宅セーフティネッ

あなたと変える いっしょに変える

◆下野谷遺跡(文化財の保存・活用)

保存・活用計画の策定や国史跡指定地の追加指定など、遺跡の保護に努めます。VRコンテンツなどによる啓発活動や学校教育などでの活用、東伏見駅周辺へのモニュメントなどの設置、遺跡をモチーフとした商品のPRなどに取り組みます。

◆いこいーなを活用した地域振興

大手コンビニエンスストアチェーンと締結した地域活性化包括連携協定に基づき、市内店舗でのグッズ販売について協議します。

◆女性の創業・就労支援

女性の働き方サポート推進事業について、より参加者のニーズに寄り添った事業展開を図ります。

◆SOHO施設の整備

民設民営型での整備を図るため、新たに(仮称)西東京市創業サポート施設開設支援補助制度を創設します。

◆農業振興

認定農業者への支援策を継続するとともに、地産地

市議会議長・副議長 決定

2月15日に開催された、平成29年第1回市議会臨時会で、小幡勝己議員(63歳、田無町5丁目在住)が議長に、保谷清子議員(69歳、富士町2丁目在住)が副議長にそれぞれ選任されました。

◆議会事務局 田 (☎042-460-9860)

議長



小幡 勝己 議員

副議長



保谷 清子 議員

監査委員 決定

2月16日に開催された平成29年第1回市議会臨時会で、小林たつや議員(55歳、北原町1丁目在住)が、議員の中から選任される監査委員として同意され、同日付で選任されました。任期は議員の任期です。

◆監査委員事務局 田 (☎042-460-9870)



小林 たつや 議員

家具転対策で地震に備えよう!

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から6年が経過しました。

地震による被害を減らすため、家具類の転倒・落下・移動防止対策(固定、落下防止措置)をしておきましょう。

□家具の転倒などによる主な被害

- けが…地震時のけがの約3～5割を占める
- 火災…ストーブなどへの家具類の転倒、収容物(本棚の本など)の落下が原因
- 避難障害…転倒した家具で扉や窓などの逃げ道がふさがれてしまう

□対策

- L字金具…壁と家具をねじ留めで固定するため効果大
- 突っ張り棒(天井との間にポールを突っ張る)…ねじ留めできない場合に有効

- 出入り口付近や避難経路に家具を置かない、置く向きを工夫する

家具転対策器具はホームセンターなどで取り扱っています。正しく設置して地震に備えましょう。

☎西東京消防署(☎042-421-0119)

◆危機管理室 保 (☎042-438-4010)

